

# 『一心千里』

## 走っていけば、

## 見えてくる

永田 隆一



第7回

「いいですか?」「いいらっしゃいませ。さあ、どうぞ」「いいいや、カラオケのDです。新しい、商品のご紹介に……」。マスターは、入り口のドアのところを歩いていて、大きな声で、「馬鹿ヤロー、営業中にくるんじゃない!」

新宿の歌舞伎町にあるバー『ラーセン』の柴田マスターは、品のある69歳。44年歌舞伎町で、バーをやっています。奥さんと2人で経営しております。

ワンターに客が3人。あの、D社の営業マンは、恥ずかしかつたに違いない。しかし、よいことを学ぶ機会をもらったと、将来きつと、柴田マスターに感謝する日が来るだろうと。

①他人への自意識過剰

マンは、次から次へと、たくさんのお店に迷惑をかけ続けて、たくさんの人たちから、常識をわきまえない、大馬鹿やろうと、笑われ続けるのであります。

最近では、まったく聞かなくなりました。「怒鳴り声」であります。しかし、ここから許

# 恥をかける幸せと 照れを捨てること

②自己卑下

③気恥ずかしさ

人間は、誰でも多かれ少なかれ、こういった感情を持っておりま。冒頭のようなり取りの際も、「いや、営業中だから、また別の日に」などと、波風をたてることもなく、やり過ぎるのがほとんどでしょう。しかし、そうすると、D社の営業

「永田さん、うちの店のカラオケもD社です。手紙の一通、電話の1本をかけて、営業時間前に、説明に来るのが筋です。しかも、私に、『いらっしやいませ』とまで言わせておいて。最近、常識がない馬鹿が増えてしまつて、やれやれです」。私は、思いました。カ

「じゃない!」との一喝は、行動を変えてくれるきつかけとなる「恥」となる力をもっていると思えます。《ビジネスでも恥を》かつては、学校でも家庭でも、近所であっても、子供達は、厳しく育てられる環境がありました。私は、小学生のころ、妹達とけんかをする、帰

宅した父親から、外の木にくぐられました。年下の妹を泣かしたら、どんな理由でも私に非があるという理屈を超えた、恐怖と恥。学校の先生も厳しかった印象がありました。もちろん仕事上でも、社外・社内問わずに、怒鳴り声が飛んでいたように覚えております。

最近では、まったく聞かなくなりました。「怒鳴り声」であります。しかし、ここから許さないと感じた際の怒鳴り声は、その双方や、その周りにいる第三者も含めて、『恥』について考える良いきっかけを提供してくれることもございます。《大善は非情に……》照れを捨て、恥を知らしめることを、少し広義に考えますと、仏教の言葉、『大善は非情に似たり、小善は大悪に通ず』を思い起こします。子供をしかることなく、甘やかした結果、子供は、忍耐力がなく、集中力の足りない大人に育つというデータがございます。

競争力のなくなった事業から撤退することもせず、大胆なリストラムせず、社員みんなで頑張りましょうと言っていた企業は、優秀な人材が社外へ去り、益々、低迷を深めてまいります。

GEを再生させたジャック・ウエルチは、『企業再生・選択と集中』に大ナタを振るい続けている時、『中性子ジャック』とマスコミから皮肉られました。建物だけを残して、中で働く社員を根こそぎ退社させた、誇張したものでした。しかし、ジャックは、「社員の雇用を保証するのは、顧客である」と言い続け、顧客(市場)からの支持を失った事業をリストラしていきました。そして、GEは、社会に貢献する優良企業への脱皮に成功します。結果として、多くの社員は、雇用と権利を保障されておりま。まさに、『大善は非情に似たり』でございます。

《非情にみえる大善案》  
①若者に機会を。中学生まで、新幹線は無料、さらに同伴する大人は半額。高校生・大学生が海外旅行する際は、国が10万円お小遣いを提供(かわいい子には、旅をさせろ)  
②外貨を稼ぐ企業を優遇。企業の最終利益の外貨貢献分に関しては、法人税をゼロに優遇(内需拡大には、限界がある)  
③少子化対策。1人誕生で、100万円を国が支給(政府保証の大蔵省発行券)

照れを捨て、汗をかきながら恥をかく。そして、大善を考えて行動する。京都祇園の千子(センコ)ママの言葉です。  
①照れを捨てなさい  
②ビッグをこえてグレートになりなさい  
②祇園の空気を吸わなければ病気になるよ

(御意) (毎月掲載)